



千葉支社と

三月ダイヤ改で

最終確認

動労千葉は、別記のとおり千葉支社と三月四日「三月ダイヤ改」に関する大筋了解事項、同九日「三月ダイヤ改」の実施に関する確認メモを取り交した。

この間(分割・民営化

以前も含め)、当局は団体交渉をことごとく形骸化させ、労働組合と話し合うことすら否定してきた現状のなかにあつて、動労千葉はストライキ体制を確立することを通し「八九・三ダイヤ改」阻止

闘争を闘ってきた。そうした闘いが「八八・三」、「八八・一二」ダイヤ改阻止闘争と比較し、一定の前進をかちとるにまで至ったのだ。

労働組合の最大の武器であるストライキを軸に

千葉支社との「八九・三ダイヤ改」に関する大筋了解事項

- ①乗務員仕業の改善については、次期ダイヤ改に向けて努力する。ダイヤ設定に当たっては、線区ごとの実態に踏まえて行う。
- ②強制配転者の原職復帰については、配転期間も考慮する。
- ③乗務員の指導・訓練などについては、運転保安確保を第一として行う。
- ④年休消化に努力する。

三月ダイヤ改正の実施に関する確認メモ

要求も当局との力関係も前進しないことがここにはっきりと示されている。しかし、われわれは手放して喜んでいくわけにいかない。問題は山積みされている。

闘いはこれからである。第二〇回定期委員会、三・二六三里塚闘争の成功を全組合員の総決起でかちとろう！

- 一、三月ダイヤ改正の実施にあたっては、安全輸送を踏まえ、この間における協議経過を尊重し実施する。
 - 二、問題が生じた場合は別途協議する。
 - 三、実施期日は、三月十一日とする。
- 一九八九年三月九日
東日本旅客鉄道株式会社千葉支社勤務担当課長
江沢 俊行
国鉄千葉動力車労働組合交渉部長
山口 敏雄

民間争議団の全国交流集会に参加 たたかいかいを学ぼう!!

三月九・十日と争議団連絡会議主催の全国交流集会と統一行動に青年部を先頭にのべ十一名で参加した。

九日、十三時すぎより全国交流集会が、飯田橋の労政会館でもたれた。ここには動労水戸も参加していた。集会では各争議の経過と現状報告があり「組合をつくったことに資本が恐怖して解雇」「偽装倒産で解雇」「無理な配転を強制された」「臨時雇用を理由に解雇」などと各参加者の話を聞くと、本当に資本の本質が何なのかを教えさせられる。そういう中で、不屈に五年、十年と闘いぬいている話は教訓的であり、完全勝利で原職奪還をかちとった話を聞くと勇気づけられた。

昼の部では、約五〇団体、九〇名程が参加し、夜の部では一五〇名が参加して集会形式で交流がもたれた。

翌十日、朝より統一行動に入った。

まず東京駅前にある中央公論社への抗議である。社長嶋中が、「団交に応じない」と約束したのにまだに実行していないことに対し、早期団交開始を迫るために社前闘争を展開した。

中闘争は九名の不当解雇以降、十八年目に突入するという不屈の闘いである。この闘争には全金本山をはじめ一五〇名が参加。この闘いに恐れられた社長ら経営者どもは早朝出社し、社前に姿を見せることが出来なかった。昨年は弾圧を引き出すために警察に守られながら社長が出社したというから今年はこちらの勝利である。勝利のシュプレヒコールを社屋内で行った。

続いて反動化する中労委(大門にある)都労委(こちらは有楽町)に要請行動。有楽町駅前集合を行い、散会した。